ブラジル国際交流員ナタリア通信

Olá!〔オラ!〕

（ポルトガル語で「こんにちは」）

はじめまして！ナタリアです！

問合先　自治振興課

今年7月から泉佐野市の国際交流員として勤務しています、日高ナタリアです。ナタリアと呼んでください。

2019年に泉佐野市と友好都市提携を締結したブラジル連邦共和国サンパウロ州マリリア市から派遣されました。私は日系三世です。生まれや育ちはマリリア市ですが、顔は日本人に見えると思います。おじいちゃんが子どものころに、家族と一緒に宮崎県からブラジルへ移住しました。母国語はポルトガル語ですが、英語と日本語もできます。ぜひ、お声掛けください。日本食は何でも食べます。特にラーメンとお寿司が好きです。趣味はアニメを見ることと、旅行をすることで、来日する前に、家族と一緒に1ヵ月間ブラジルの東北地方を車で1万kmくらいドライブとキャンピングをしました。楽しくていい思い出になりました。

マリリア市

【マリリア市の紹介】

マリリア市はサンパウロ州の基礎自治体です。人口は約24万人、面積は約1,170㎢です。マリリアは、もともとコーヒー農園が広がるところで、そこに日本からの移住が入り、日本文化の影響を受けるようになりました。多くの日系ブラジル人が活躍している活気のあるまちです。

【泉佐野市の印象】

初めて泉佐野市に来た時、関西国際空港に近く、駅もたくさんあって、交通が便利だと思いました。泉佐野市の人たちはすごく明るくて親切で、ここにきてよかったと思います。これから、国際交流員として泉佐野市とマリリア市の友好のために頑張ります。また、泉佐野市のブラジル人コミュニティをサポートしたいです。ブラジルのことを知りたい人はなんでも聞いてください。みなさん、よろしくお願いします。

今月のポルトガル語

Obrigado ！（オブリガード）：ありがとうございます！

Bom dia, tudo bem?（ボンジーア、トゥードベン？）：おはようございます。元気ですか？

国際交流員のナタリア▶

韓国大邱広域市寿城区 派遣職員レポート ～その③～

問合先　自治振興課

アンニョンハセヨ！派遣職員の神田です。今回は、大邱市および寿城区の名物グルメを紹介します。

◀チメク

チメク　チメクとは「チキンとビール（韓国語でメクチュ）」の造語です。韓国内でもチメクのお店は多いですが、有名チェーン店の多くが大邱発祥の食べ物として知られています。また、毎年夏には、チメクをテーマとした「大邱チメクフェスティバル」が開催され、多くのチキンと酒類関連の企業が参加し、有名歌手やDJによる公演もあり、韓国内でも人気のイベントとなっています。

▲薬膳料理

薬膳料理　おいしく食べて健康になれる薬膳料理も人気があります。写真は区役所近くのお店で、味付けに化学調味料を使っていないため体にも優しい料理が食べられます。人気メニューはひじきとあわびの炊き込みご飯コースで、ひじきご飯に15種類以上のおかずがついてきます。韓国料理には「薬食同源」といって、自然の食材を薬として捉え、素材をバランスよく組み合わせることで健康増進に役立てるという思想がありますが、このお店でも体に負担のかからないよう、食材の組み合わせにこだわりを持っているそうです。

韓国の食文化　韓国では「ご飯もう食べた？」が挨拶言葉になるくらい、みんなで食事をする時間を大切にしていると感じます。また、私が好きな韓国の文化の一つに、食堂やカフェで食べ物を注文すると、「맛있게 드세요（マシッケ トゥセヨ／美味しく食べてください）」というフレーズをよく耳にします。これには「食事をする相手への心遣いが表れていて、いいな」と思いました。